

♣グリーン電力出資金出資者
♣グリーンコープでんき利用者 の皆様

グリーンコープでんき通信 VOL.41

2020年11月23日発行
一般社団法人グリーンコープでんき



不具合で停止していた 「杖立温泉熱バイナリー発電所」が やっと本格再稼働!!

～5ヵ月ぶりにグリーンコープでんきの電源に復帰しました～

グリーンコープでんき通信（4面）で毎月グリーンコープでんきの電源構成をお知らせしています。電源の一つとして掲載していた杖立温泉熱バイナリー発電所の電気を今年5月からお届けすることができていませんでした。

これは、発電機器の不具合により発電所が停止していたためです。地元・小国町のローカル・パワー（株）と環境エネルギー政策研究所、（一社）グリーンコープでんきで構成する合同会社の運営による発電所として、2018年8月に組合員の期待を受けて発電を開始しました。しかし、温泉熱を利用した発電は初めてで、なにかと不具合が生じ順調とは言えませんでした。

皆さんにご心配をおかけしましたが、やっと再稼働へと漕ぎ着けました。10月初旬、温泉（井戸）の掃除に合わせ、発電設備機器の設置業者である富士電機（株）、発電機メーカーである第一実業に原因調査をお願いしました。また、現地で発電所の管理をしているローカル・パワー（株）による日々の細かな点検と調整の結果、10月中旬より発電を再開することができました。

順調に稼働させるために！

- ♫ 温泉熱を利用した発電は、温泉の温度や圧力、水蒸気の量、スケール（湯の花）の付着など、各温泉井戸で異なるため、それぞれの条件に合った発電設備が必要です。
- ♫ 年に数回井戸の掃除などを行い、外気温なども考慮しながら機器を調整し、発電を維持することが必須といえます。



周辺に迷惑がかからないよう防音壁を設置しました



- ♫ 温泉井戸の状態を把握して適切に機器を調整しなければならないため、安定した運転ができようになるまで、一定の時間と経験が必要です。（小国周辺の多くの温泉熱発電所も同様です）
- ♫ 杖立温泉熱バイナリー発電所は、稼働から2年が経ち、温泉の状態（温度や圧力など）の把握や機器の調整など、ローカル・パワー（株）で安定稼働させるための経験を蓄積しています。
- ♫ まだ正確に原因を特定できていないため、この原因究明と機器の安定稼働に向けた対策を富士電機（株）に要請しています。

2020年4月から託送料金への上乗せが決まっている「賠償負担金」と「廃炉円滑化負担金」の問題点に関して、グリーンコープは経済産業省に2018年3月から「お尋ね」や「陳情」をお届けしてきました。それを踏まえて、2019年5月23日、資源エネルギー庁への訪問が実現し、1時間という限られた時間でしたが、意見交換の場を持つことができました。ただ質問点を残したままとなっていましたので、2020年1月16日第2回目の訪問をし、さらに意見交換を深めることができました。第1回、第2回の訪問記録（経済産業省資源エネルギー庁・グリーンコープで確認済み）を要約して、シリーズでご紹介します。

《第1回目訪問記録から》

■第1回訪問：2019年5月23日（木）13時～14時15分

■対応していただいた部署：経済産業省資源エネルギー庁電力・ガス事業部電力産業・市場室 2名

■グリーンコープからの参加 共同体理事会から2名 託送料金検討委員会から3名

※前(40)号は、「一般送配電事業者託送供給約款料金算定規則」第26条の2(変動額認可)にある「賠償負担金相当額変動額」の「変動額」とは何を指し、それを引き上げようとすることを求める」とはどういうことかを訪ねていたところでした。今号はその質問への応答の途中から、とその後の質疑応答を紹介します。

A それは節電であったり、皆さんの努力であったり、家電などの省エネ機能が上がったりとかで需要がずっと落ちてくる。そうすると結果としてどんどん電気料金が上がってってしまう。このまま需要が頭打ちの中で、料金改定というものが果たして、電気料金の抑制という観点でよろしいのか、ということが審議会等で議論があった。こういった個別の特定の原価について改定するときには需要は見直さずに、その特定の原価だけを見直すという仕組みがある。FIT制度もそうだが、単価が毎年変わるので、毎年需要を計算していたら原価以上に需要が下がっている影響でどんどん上がってってしまう。そういう特殊な料金の算定方法を定めており、これもその一つ。変動した時に需要を見直さなくていいということを決めているのがこの条文。おそらく、この条項で引き上げようとしていることに引っかかっている、これがどんどん上がるのではないかと危惧されているのだと思う。その原価が、賠償負担金上がるから電気料金全体を引き上げるところで、需要は見直さなくていいと定めているのがこの条文だということだ。逆に下げるときには原価だけを下げ、需要は見直さなくていいというような準用規定もある。原価のように頻繁に変わることに對して、毎回、必要以上に電気料金を上げない、そういう措置だということだ。

GC 原価が変わるとということか？原子力発電事業者から出てくる負担金の額は固定ではないか。

A 上限は2.4兆円と定めている。ある年の夏がものすごく暑くて電力利用量が高くなったとしたら、思っていたより回収できたということもあると思う。仮に極端な話だが、毎年夏が想定以上に暑くて、冬が想定以上に寒かった場合、儲かってし

まうことになる。すると上限の2.4兆円を超えてしまう。そこはちゃんと押さえていく。如何せん、40年の回収措置なので、むしろ上限2.4兆円という約束を守るための措置というふうを考えているので、この5年おきに取り直す。その度に需要まで見直しをすると、それ以上に電気料金が上がってしまうことになる。

GC これは結局、一般送配電事業者ごとに回収すべき賠償負担金の額と期間が定まって、一応額が出てきているのだが、想定していたよりも今の話だと、その通り回収していくと、結局総体が当初予定していた総額より増えてしまうということか。

A そう、2.7兆円とか。

GC おそらく、回収すべき賠償負担金の額は、総額で一般送配電事業所ごとに決まっていると思うので、それを上回る状況になったらその時点で打ち止めにするということになると思う。2.4兆円を各事業所に割り付けているわけなので、その額を超えてしまったらだめだということ。それのことだけを言っているのか、この変動額というのは。

A 変動額というのは、おそらく固定とか、消費税とか税率が上がった時にもそうだが、できるだけ転嫁するといった時に、需要はそこまではいいよということだ。それはなぜかということ、繰り返すが、電気料金をできるだけ必要以上に上げさせないというためだ。廃炉円滑化負担金も同じ回答になるかと思う。

GC そうすると場合によっては、回収の期間を過ぎても回収できない場合だってありうることか。結果として。

A 理論上はあり得る。結果としては40年後のことはわからない。こちら側の都合かもしれないが、時間がないので、次にいいか？

GC できたらもう一度、今日のような時間をもっといただくことはできるだろうか？

A 我々は日頃いろいろな方々の対応させていただいているので、なかなかこういう場を全ての方々に対応することは厳しい状況。できれば、文章のやりとりさせていただけないかなと思っている。あと15分程ある。特にということがあれば・・・。

GC 文章でということについては、何らかの理由があると思うが、もう少し意見交換の時間をとっていただいてからではダメなのか？今回この場を持っていただくのに結構時間がかかった。だいぶ経過をして、やっとこういうお話ができるように時間を作っていた。可能であれば、少し時間をおいてからでも構わないので、またこういう場を持たせてもらえないかと、強くお願いしたい。今日あと15分でバタバタというのはとても難しいような気がする。

GC やはり直接話ができるのがいい。ある意味文章より聞いてわかるので。

A 別に逃げたいわけでも全くないのだが、どうしても中立という立場から申し上げれば、本当に様々な方々がいらしている。

GC とりあえず、一か月後にもう一回今日の続きをしていただけないか。今と同じくらい聞きたい中身がそれぞれにあるので。

A 検討させていただく。

GC 先ほど、回収しなかったらどうなるのかという事と、あともう一つ来年の4月までは何も具体的な広報はしないのか。この二つは、多分今日正しい答えはでないと思う。そういったところの宿題もあるので、もう一回機会を設けていただけると有難い。

A 検討させていただく。今後の業務の見通しだったりあるので。

GC どちらも結構重要な問題だと思う。正直言って、今回調べる際、改正された規則というのは一体どこにあるのだろうと調べていくと、最終的には未だに官報で見えるしかないということだった。これだと普通の人には全く見られない、知ることができないと思う。これはいささか不親切なのではないかなという感じがする。結構国民の皆さん、消費者の皆さんには大きな影響のあるところであるにも関わらず、官報を見るというのはちょっとどうかという感じがする。しかも、二つの負担金の改修が来年の4月から始まって、その頃になって詳細な情報が出るというのはちょっと遅いのではないかなという気がする。そのあたりも見直していただければ有難いなと思う。

A もちろん今日のお話というのは、当然、然るべき者へも含めてちゃんと共有、報告をする。

GC 検討いただけるということでいいか。

A しっかりとした広報ということについて、もちろん検討する。

GC 私たちグリーンコープは生活協同組合なので、法の元で言ったら厚労省のご指導をいただきながら活動をしている。今回私たちが問題にしている賠償負担金と廃炉円滑化というところでは、広く国民に考えて欲しい。私たちも一緒に考えたいと思っている。これからの未来に向けて、廃炉と核燃料の保管とか、処理ということでは、今から生まれてくる子どもたち、その次の子や孫に負担を負わせていくということでは、一省庁のお考えだけということではなくて、国民がちゃんと議論、

して、国会でもちゃんと議論してほしいと思うので、またこういう機会を持たせていただきたい。私たちが今日のことを持ち帰ってみんなで議論をして、また質問などお届けするので、今後ともよろしくお願ひしたい。

GC 私は在京なのだが、今日は鳥取、大分の組合員が旅費を使ってきている。ようやくこのような場を設定していただいているので、もう少し時間を長くとっていただけるとお願ひしたい。それからよく消費者の意見、消費者団体の意見とかでヒヤリングとかしていただいていると思うが、やはり選定される消費者団体が非常に偏っていると思う。こういったグリーンコープのようにいろいろな勉強も積み重ねて学習もされているので、是非そういう知見も聞いていただきたい。

GC では、私も一言。グリーンコープ生協は大阪・兵庫から中国地方・九州全県(沖縄は除く)まで42万人の組合員がいる。具体的には私はおおいの理事長を務めているので、今日はおおいの組合員3万人を代表して、代弁者として来ようと思って来た。私たちはこの2年間、今年で3年目になるが、この託送料金について、組合員に向かってこんなふうな状況だということを情報公開をして、託送料金に含まれる問題について、多くの人たちと意見交換をしてきました。その中で、やっぱり皆が言っているのは、「託送料金そのものを知らなかった」ということ。そのうえ、託送料金にこんなにたくさんの経費が含まれている。もちろん電気料金にもいろんなものが含まれているが、そういったことをずっと電気料金を払ってきた利用者が一切知らなかったという声が一番大きい。そしてこれから2020年にはさらに負担が増えるということに対して、もちろん福島復興に対しては自分たちも応援していきたいし、今まで原子力発電所を使っていることを容認してきた私たちがその廃炉について負担することも仕方ないと思うという組合員もいる。それでも、それを託送料金転嫁を決めること、決めた内容も私たちにちゃんと知らせてほしい。何も知らないところで全てが決まっていくことがどうしても許せない、という声が大い。先ほど電気事業法18条に基づいての認可で対応できるので、そのように決めたとされた。それが法律で決められたのなら、そうだと思う。でも、国民は、私たちは、もっとちゃんと知りたい。決める途中のことも知りたい。そういうふうになっている。その声をぜひ受けていただいて、国民のためにお仕事をされているのであれば、そういったところに耳を傾けていただきたいと思う。

GC 今日は有難うございました。またぜひよろしくお願ひしたい。

2019年5月23日の訪問記録からの紹介は今号で終了。
次号からは2020年1月16日訪問記録を掲載します。



■ グリーンコープでんき

- ・ 10月にグリーンコープでんきを供給した契約件数は、GC事業所、組合員契約件数、GC商品のお取引先も含め下表のとおりです。

生協名	GC事業所 契約件数	組合員 契約件数	契約容量 (kW)
GC生協おおさか	8	58	279
GC生協ひょうご	9	33	194
GC生協とっとり	2	41	196
GC生協(島根)	1	91	392
GC生協おかやま	6	111	482
GC生協ひろしま	9	138	649
GCやまぐち生協	5	527	2,237
GC生協ふくおか	103	1,936	8,598
GC生協さが	17	110	673
GC生協(長崎)	11	184	848
GC生協くまもと	39	524	2,755
GC生協おおいた	17	294	1,292
GC生協みやざき	2	141	527
GCかごしま生協	12	211	938
単協計	241	4,399	20,060
(一社)グリーンコープでんき(低圧)	50		332
(一社)グリーンコープでんき(高圧)	63		4,903
総合計	354	4,399	25,295

■ 10月の電源構成

【関西電力エリア】

- ・ 敦賀グリーンパワー(燃料:バイオマス) . . . 95.3%
- ・ 家庭用太陽光発電 . . . 4.7%

【中国電力エリア】

- ・ 敦賀グリーンパワー(燃料:バイオマス) . . . 98.5%
- ・ 家庭用太陽光発電 . . . 1.5%

【九州電力エリア】

- ・ 敦賀グリーンパワー(燃料:バイオマス) . . . 96.4%
- ・ 馬洗瀬小水力発電所 . . . 0.6%
- ・ 杖立温泉熱バイナリー . . . 1.2%
- ・ 家庭用太陽光発電 . . . 1.8%

※グリーンコープでんきは、電源となっている発電所をすべて特定しています。

※グリーンコープでんきの電源には、原発由来の電気は一切含まれていません。

■ 秋のでんきキャンペーン実施中!

* グリーンコープでんきをお勧めしたい方をぜひご紹介ください!!

* グリーンコープでんき・家庭用太陽光余剰電力(卒FIT)買取のご契約者、ご紹介いただいた方にもれなく「500GREEN券」プレゼント!
詳しくは所属のセンターまで



■ 市民発電所

- ・ (一社)グリーンコープでんきの各発電所の2020年度8月までの実績です。ホームページでは、発電所ごとに過去3カ年の発電実績比較グラフを掲載しています。

発電所	出力(kW)	発電量(kWh)	売電額(円)
神在太陽光発電所	1,057	611,060	24,442,400
平池水上太陽光発電所	1,260	777,376	27,985,548
深年太陽光発電所	1,550	1,476,691	80,325,618
若宮物流センター	47	28,065	1,038,405
広島物流センター	47	23,707	877,159
やまぐち西部地域本部	54	33,132	1,093,356
グリーン未来ソーラ(10箇所)	244	221,610	4,653,810
合計	4,259	3,171,641	140,416,296

◆ グリーン電力出資金

- ・ 皆さんから出資いただいたグリーン電力出資金の総額(実際に振り込んでいただいた額)は、9億5,676万円になっています。
- ・ 出資目標額(積立目標額)は、10月16日現在11億2,065万円になっています。

生協名	申込人数	申込件数	出資目標額
GC生協おおさか	207	231	17,230,000
GC生協ひょうご	94	114	8,056,000
GC生協とっとり	132	144	10,770,000
GC生協(島根)	237	249	11,850,000
GC生協おかやま	145	161	13,310,000
GC生協ひろしま	669	796	83,367,000
GCやまぐち生協	566	655	42,330,000
GC生協ふくおか	5,363	6,244	530,054,000
GC生協さが	319	362	44,735,000
GC生協(長崎)	564	622	55,271,000
GC生協くまもと	1,466	1,673	125,304,000
GC生協おおいた	772	860	69,028,000
GC生協みやざき	287	324	28,415,000
GCかごしま生協	715	824	80,936,000
合計	11,536	13,259	1,120,656,000

・ グリーン電力出資金は、市民発電所の建設費に充てています。

・ 2020年10月末支出総額は8億4,881万円で、残高は10,795万円になっています。市民発電所の建設は、継続して調査や検討をすすめています。

これまで出資いただいた金額	956,763,500
これまで支出した事業と金額	848,810,221
神在太陽光発電所、平池水上太陽光発電所、深年太陽光発電所、若宮物流センター、広島物流センター、やまぐち西部地域本部、グリーン未来ソーラー発電所、豊浦太陽光発電所、馬洗瀬小水力発電所、杖立温泉熱バイナリー発電所、ながわ小水力発電所(建設中)、しましま小水力発電所(準備中)、霧島太陽光発電所(建設中)、熊本菊池太陽光発電所、国東第二自然電力太陽光発電所	
グリーン電力出資金の残高	107,953,279